

1. 学校教育目標

「社会の変化に主体的に対応し、夢と希望を持って自ら学び、
豊かな心でたくましく生きる人間」の育成

◎重点目標 「社会で生きる力の育成」 … 『自律』と『協働』

- 自律…自分で考え、判断し、行動する（力）
- 協働…考え方の違いを乗り越え、目的や目標の達成に向けて、協力して取り組む（力）

※上記目標達成に向けた基盤となる人間性の育成

- 「多様性を認める心」…考えや意見、立場の違いを認め、対話を通して理解することで、個を生かし、新たな創造につなげようとする。
●生徒に向けた言葉…「違いを認める」
- 「主体的に取り組む姿勢」…当事者意識を持って学校生活を送り、積極的に課題発見・解決を図ることでよい良い状態を目指そうとする。
●生徒に向けた言葉…「自分事として取り組む」
- 「寛容な心で接する態度」…自他を大切にし、広い心で相手を受け入れたり、許したりすることで、良い関係を構築するようにする。
●生徒に向けた言葉…「広い心で接する」

2. 目指す生徒像

- (1) 知恵と、体力を備えた生徒
- (2) 自制心があり、情操豊かな生徒
- (3) 勤労を尊び、社会に奉仕することのできる生徒
- (4) 夢と希望を持ち、努力する生徒

3. 重点的取り組み

- (1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善により、学力（知識・理解、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度）向上を図る。
- (2) 探究的な学習を通して、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成する。その際、タブレット端末等、ICT 機器を効果的に活用する。
- (3) 部活動や委員会活動、行事等の活動に主体的に取り組むことを通して、粘り強さや責任感、自尊感情、自己有用感、リーダーシップ、チームワーク、思いやり等の人間性を高める。
- (4) コロナ禍でも体験活動を重視し、勤労観・職業観を育むキャリア教育を推進する。
- (5) 自己決定の場や共感的雰囲気大切に、信頼関係を基盤にした生徒指導を行う。
- (6) 全教育活動を通して命の大切さや多様性の尊重を伝えると共に、道徳的実践力の育成と豊かな人間関係づくりを推進する。
- (7) 特別支援教育の推進、悩みを持つ生徒への教育相談の実施、長欠（不登校）生徒への対応強化を図る。
- (8) 家庭や地域社会と連携・協力し、安全で安心な信頼される学校づくりを推進する。
- (9) 学校の働き方改革や新しい部活動の在り方を通して、職員及び生徒の心身の健康を大切に

すると共に、職員のワークライフバランスの実現を目指す。

(10) 新型コロナウイルス感染症対策を確実に実行しながら、生徒の豊かな学びを保証する。

4. 具体的取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症対策と生徒活動の充実

- ① 生徒の健康観察と感染症対策の徹底、生徒活動をできる限り確保・充実させる工夫。
- ② 学校外であっても自らの思考・判断で感染予防行動を行う実践力の育成。

(2) 働き方改革の推進と部活動の在り方についての意識改革

- ① 超過在校等時間の上限目標（市の統一目標） 月 60 時間以内 80 時間以上 0 人
- ② 部活動の目的や目標の再定義 自治と学びがある部活動 ガイドラインの遵守

(3) 「居場所のある学校」づくり

- ① 生徒指導の機能（自己選択、自己存在感、共感的雰囲気）を生かした、いじめのない、お互いを認め合う学級・学年・学校づくり。
- ② 自己実現に向けて努力する生徒 + 友達と職員の支援
- ③ 校内適応指導教室の活用。 相談室の運営及び担当職員と学年・学級担任等との連携。

(4) 一人一人を大切にし、学力を高める学習指導、常なる授業改善

- ① 楽しくてわかる授業・知的な授業へ向けた常なる授業改善。
- ② グループ学習及び対話を生かした思考力・表現力を高める指導。
- ③ タブレット等 ICT 機器を活用し、生徒が意欲的に学びに向かう指導の工夫。
- ④ 家庭学習の習慣化と発展 (総合的な学習や探求学習、自由研究への発展)

(5) 家庭と連携、きめ細かな生徒指導を通じた、長欠（不登校）や問題行動の解消、防止

- ① いじめ・不登校の解消と防止、教育相談の充実。Q-U 検査の活用を研究。
不登校 マニュアルの活用、解消に向けた 研究、学校・家庭・関係諸機関との連携強化。
- ② 各学年と生徒指導部の連携。
- ③ 情報モラルの徹底（心ない書き込みをしない、させない。外部機関や家庭との連携。）

(6) 登下校時の安全確保と通行マナーの改善のための安全指導の充実

- ① 自転車通学者の傷害保険加入率 100%の達成とそれ以外の自転車利用者への啓発。

(7) 生徒の主体的活動による学校生活の改善

- ① 生徒会活動を中心とした挨拶等礼儀の励行、清掃活動や奉仕活動等の推進。
- ② 生徒会執行部や委員会の自治活動の推進 (ルールの改定まで含め、学校生活を自分達で変える・創る・楽しくする意識の向上を職員が支援する。)

(8) 特別支援教育の推進

- ① 特別支援学級等との交流を通し、障害に対する理解と人権意識を育てる教育を推進。
- ② 多様性（性の多様性含む）を尊重する意識を育てる。
- ③ 校内研究「新時代を生きるために、自ら学び、判断し、表現する生徒の育成」
～生徒を主語に、特別支援教育の機能を活かした学習指導・学級経営～

(9) 不祥事防止を含めた、生徒・保護者・地域に信頼される学校づくり

- ① 不祥事防止に向けたボトムアップ型の研修と更なる意識向上。
- ② 風通しの良い職場と気軽に声をかけ合い、互いに助け合える 同僚性の構築。
- ③ 正確な情報発信と事務処理。
- ④ 学校ホームページやメールの有効活用
…学校行事や授業の様子、部活動の結果や中継、食育等の情報公開 HP に随時掲載
…学校への協力要請や、学校からの通知、保護者へのメール発信
- ⑤ 自然災害が発生又は予想される場合等の生徒の安全確保と迅速な対応
…台風や雷などの天候の急変による早帰り及び感染症 拡大による臨時休業の判断。
…震度 5 弱以上の地震による学校留め置き後の下校か保護者等引き渡しかの判断。